

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育 科目: 保健 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: (1・6組: 西郡) (2・4・7組: 田口) (3・5・8組: 宮崎)

使用教科書: (大修館書店 新高等保健体育)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動特性に応じた技能や安全についての知識及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康について、自他の課題を発見し、課題解決に向け、合理的、計画的に思考・判断する力を身につけるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけられるようにする。	健康についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることが理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択して説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・生徒一人一人が興味・関心に基づき、自他の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。	【知識・技能】 生涯を通じる健康に津小手に個人・社会的な活動や課題についての理解を深め、個人及び社会生活を健康で豊かにするための方法を理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	4
	労働と健康 (イ) 労働と健康 【知識及び技能】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 労働と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択して説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 労働と健康について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・労働と健康に関する正しい知識を理解し、自他や社会の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・グループワークを通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 労働と健康による個人・社会的課題についての理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 労働と健康に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働と健康について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	健康を支える環境づくり (ア) 環境と健康 【知識及び技能】 環境と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと社会の関わりを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 環境と健康について、課題解決を目指して、知識を活用した学習活動により、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	環境と健康について正しい知識を理解し、未成年の健康被害に関するデータや資料をもとに課題を分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 環境と健康による個人・社会的な影響の理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 環境と健康に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	6
	健康を支える環境づくり (イ) 食品と健康 【知識及び技能】 食品と健康について、課題解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 食品と健康について、課題の解決を目指し、科学的、総合的に判断し、説明することができるようにする。	・生徒一人一人が興味・関心に基づき、食品管理の資料やデータをもとに自他や社会の課題を分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・グループ活動を積極的に取り入れ、対話的で深い学びの実現を図る。	【知識・技能】 食品と健康に関する、適切な生活行動を選び、実践する必要があることを理解し、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 食品と健康について、データや資料を基に、他人の意見を聞く中で課題の設定や解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品と健康について関心を持ち、資料の収集をしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	4

	【学びに向かう力、人間性等】 食品と健康について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	る。	つとしている。					
	健康を支える環境づくり (ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知識及び技能】 保健・医療制度について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと社会の関わりを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 保健・医療制度について、課題解決を目指して、知識を活用した学習活動により、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 保健・医療制度について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・保健・医療制度に関する正しい知識を理解し、自他や社会の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 保健・医療制度についての理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 保健・医療制度に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 保健・医療制度について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	5	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	健康を支える環境づくり (エ) 様々な保健活動や社会的対策 【知識及び技能】 健康課題に対して各種の保健活動や社会対策が行われていることについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康課題に対する各種の保健活動や社会対策についての資料やデータを分析し、自身の考えを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な保健活動や社会対策について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・健康課題に対して各種の保健活動や社会対策における自他や社会の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 様々な保健活動や社会的対策について、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 各種の保健活動や社会的対策に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会作りについて関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	4	
	健康を支える環境づくり (オ) 健康に関する環境づくりと社会参加 【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方が理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康に関する環境づくりに関わる情報から課題を発見し、その解決策を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康に関する環境づくりについて関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・健康に関する環境づくりの正しい知識を理解し、自他や社会の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 健康に関する環境づくりによって、疾病の悪化の軽減する方法、生活の質の向上することについての理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 健康に関する環境づくりに関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康に関する環境づくりと社会参加について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	4	
	定期考査			○	○		1	
							合計	
							35	